



応募
団体

株式会社エナジーフロント

介護のイメージを変えるユニバーサルデザイン



登壇者プロフィール

氏名：上田 剛慈

所属：株式会社エナジーフロント
役職：代表取締役

岡山大学工学部卒業および修了(1998)、半導体洗浄装置メーカーに4年勤務後、転職し東大総合文化研究科にて研究員としてプロジェクトに参画、テラヘルツ超高感度検出器の研究で学位を取得(2009)。(株)アドバンテストにて国際マーケティングを経験後、2012年に(株)エナジーフロントを設立。様々な立場や技術分野を学んだ経験を生かし、チーム連携型のソーシャルビジネスの実現に取り組んでいる。

団体概要

社会問題を継続可能なビジネスで解決することを目指して2012年に設立。再生可能エネルギーが社名の由来だが、現在では広い分野において産学連携や地域連携でソーシャルビジネスを生み出すことに取り組んでいる。市場と技術の動向から企画立案すること、異なる立場の人や組織をつなぐこと、特許等を生み出すことで、有効にビジネスを進めることを得意としている。AUN(あうん, Action for UNiversal design)は其中で生まれた活動であり、地域産業への寄与への思いも背景に持って進めている。



自分の親の介護の経験から、福祉用具の有効性を認識するとともに、日常生活に馴染まないデザインから残念な気持ちになることも実感した。申請者自身の物理学・化学研究者としての知見を生かし、地元岡山のジーンズや帆布の地域力も生かして、快適性と機能性を両立した商品を作ることに取り組んでいる。

高齢者に多い転倒に伴う大腿骨頸部骨折のリスクを低減する「プラスパッドジーンズ」、

高齢者や障害者を車椅子等に移乗する際の高機能リフトの役割を果たすクッション「リフティ・ピーヴォ」などが主力商品となっている。いずれも使いたくなる日用品に科学が見えない形で隠れており、介護される側の人権に配慮している。電力や機械を用いないので防災時にも役立つ。海外展示会でも高評価を得ており、世界に向けて発信していく取り組みを進めている。

